

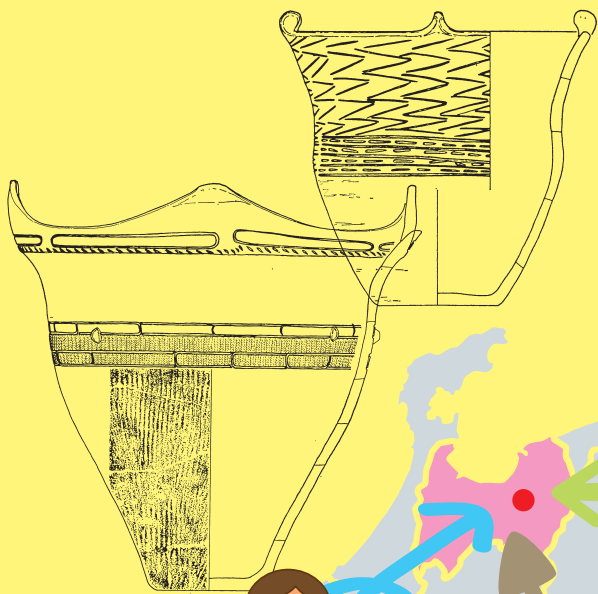
富山県指定文化財(史跡)「本江遺跡」
指定50周年記念

特別展

再発見!

本江遺跡

— 文化が交差する縄文時代と
謎の五角形住居をもつ古墳時代 —



令和4年7月23日(土)～
9月19日(月・祝)

午前10時～午後6時(最終入館は午後5時30分)

【休館日/ 毎週月曜日(ただし9月19日は開館)、8月12日(金)】

滑川市立博物館

観覧
無料



朝日町埋蔵文化財
保存活用施設

まいぶんKAN

「土器から見る縄文の朝日町」
展との交流展示
やっています!

遺跡公園として整備された本江遺跡の五角形住居跡

出土した古墳時代前期初頭の遺物

※掲載写真および掲載遺物はいずれも滑川市教育委員会蔵

主催：滑川市教育委員会／滑川市立博物館

協力：朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶん KAN

特別展 再発見! 本江遺跡

— 文化が交差する縄文時代と謎の五角形住居をもつ古墳時代 —

本江遺跡は、滑川市本江から上市町広野新にかけて広がる遺跡で、上市町側では広野新遺跡と呼ばれています。昭和45年(1970)、翌46年と行われた発掘調査で、東日本と西日本の文様を合わせ持つ縄文時代後期の土器や石器、古墳時代前期初頭の五角形住居跡や土師器などが見つかると大きな注目を集めました。

さらに五角形住居跡の発見が県内初だったことが理由となり、昭和47年に富山県指定文化財(史跡)の指定を受けたことで、五角形住居跡の周辺は遺跡公園として整備されていきました。

このような脚光を浴びた本遺跡は今年、指定50周年の節目を迎えます。本展ではこれを記念して、多様な縄文土器や石器、古墳時代の調査成果をはじめ、県内外の研究者による最新研究なども余すことなくご紹介します。



平面が五角形をした古墳時代前期初頭の第1号住居跡(1971年)



(左上)第1号住居跡内の土器出土状況(1971年)、(右上)縄文土器出土状況(1971年)
(左下)・(右下)出土した縄文時代後期の土器



◆講演会(定員30名)

- 1 7月30日(土) 午後1時30分～
「白岩川・上市川流域の古墳」 高橋 浩二さん(富山大学教授)
- 2 8月27日(土) 午後1時30分～
「縄文後期の本江遺跡—東西交流の結節点—」
秋田かな子さん(東海大学准教授)
- 3 9月10日(土) 午後1時30分～
「本江遺跡における縄文人の暮らし」 麻柄 一志さん(魚津歴史民俗博物館)

◆展示解説会(定員20名)

- 7月23日(土)、8月14日(日)、
9月17日(土)、9月19日(月・祝)
それぞれ午前11時～11時30分、
午後 1時～ 1時30分

◆本江遺跡の土器を整理してみよう!(定員15名)

- 7月24日(日)、8月6日(土)、8月20日(土)
それぞれ午後1時～5時

要申込

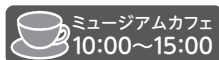
事前申込
先着順
参加無料

【お問い合わせ・お申し込み先】

滑川市立博物館



〒936-0835 富山県滑川市開676
TEL 076-474-9200 FAX 076-474-9201
E-mail hakubutsukan@city.namerikawa.lg.jp



申し込みフォーム 博物館HP



■コミュニティバス時刻表 (大日・室山ルート)

滑川駅前	11:45	14:15	16:45
博物館前	12:07	14:37	17:07
開	12:29	14:59	17:29
滑川駅前	12:56	15:26	17:56

◆公共交通機関 あいの風とやま鉄道(滑川駅)、富山地方鉄道(滑川駅・中滑川駅)から
コミュニティバス(のるmy car:大日・室山ルート)で、「博物館前」下車すぐ、「開」下車徒歩3分。

◆自動車 北陸自動車道・滑川インターチェンジから約2分。国道8号線・稲泉交差点から約7分。

ご来館の際は、新型コロナウイルス感染症防止対策にご協力ください。

